

## 2015年 9月度家計分析

**提出者数** 148名（登録者180名、提出率82.2%、昨年同時期より3名減、前月より2名増）

**収入** 全体で見ると、給与夫・妻ともに前の年と比べ減少しています。ただ20～30代、60代以上の妻では大きく増えています。この年代はともにパート・アルバイト収入が減少しており、働き方が変わってきているのかもしれませんが。

50代で退職金が出た方があり、その他の収入が増加していますが、この分を省くと50代は合計で前年比100%を割っており、全体の収入も増加したように見えていますが、実質はそれほどではありません。

**非消費支出** 全体の収入の減少に伴い、税金、社会保険ともに下がっています。20～30代、50代の個人年金が増加しています。

**消費支出** 後期授業料、センター試験受験料、修学旅行の支払いなどがあり、40、50代で教育費が1位、全体でも2位になりました。教育費が60代以上の世帯でも、ランキングに入り、大学院の進学などが増え、長く教育費に費用がかかるようになってきているようです。今後は晩産も増え、さらにこのようなケースが増えると思われるかもしれません。今年のシルバーウィークは長かったこともあり、50代、年金世帯では交通費、20～30代と60代以上ではそれに加えて教養娯楽費も増えていました。40、50代の世帯では中高生などが部活動をする、大学生以上の子どもはアルバイトや個別に出かけるなど、個別に動くようになり、家族としてのお出かけは減り、費用が抑えられるようです。2013年に食生活調べをした際にも40代以上は土日でも職場で昼食をとる母親や社会人の子どもが多数あるといったことがわかりましたが、女性の働き方も変化してきており、休日の様子も年代や働き方で違っているようです。

### ランキング

順位	全体	20～30代	40代	50代	60代以上	年金世帯
1位	食費 67,487	家地 54,509	教育 81,847	教育 78,649	食費 67,018	食費 65,215
2位	教育 48,920	食費 48,043	食費 71,674	社保 69,758	教娯 38,546	教娯 28,241
3位	社保 46,894	社保 47,780	社保 70,173	食費 69,746	交際 24,662	交際 25,613
4位	職主 34,758	自動車 42,848	家地 52,252	職主 60,866	社保 22,323	職主 20,041
5位	税金 31,276	教育 37,724	税金 48,191	税金 45,131	職主 21,407	教育 19,181
6位	教娯 28,166	税金 33,217	職主 33,194	私保 43,878	教育 17,464	社保 17,094
7位	家地 27,576	職主 32,933	私保 29,090	家地 43,330	水光 16,044	私保 15,943

注) 家地：家賃地代      私保：私的保険      社保：社会保険      教娯：教養娯楽費  
職主：職業主婦費      水光：水・光熱費